

平成28年2月7日  
認知症サポーター養成講座の様子が  
奈良新聞に掲載されました

# 周囲の接し方が大切

御所市の認知症サポーター養成講座

## 住民ら基礎知識や役割学ぶ

御所市の認知症サポーター養成講座が6

日、同市元町の中央公民館で開かれた。開催



認知症サポーターの役割を寸劇で学ぶ参加者＝6日、御所市元町の中央公民館

中の「生活・介護支援サポーター養成講座」の受講者や、地元住民ら約45人が参加した。

講座ではまず、認知症サポーターの役割を分かりやすく紹介した寸劇を披露。鴻池会地域ケアセンター長の大杉毅さんが、認知症の基本的な知識や予防法を説明した。

この中で大杉さんは「きのこの晩ごはんのメニューが思い出せなくても認知症ではない。しかし、食べたこ

とも思い出せない場合は認知症による記憶障害」と指摘した。

また「うつ病や妄想、はいかいなどの行動心理症状は、周囲の環境や性格によって

現れ方が違う。家族ら周囲の接し方が大切」と解説。「種類によっては治療によって治る認知症もあり、進行を遅らせる薬もある」と話した。